

令和4年度富山県高等学校総合体育大会  
第75回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会  
兼 第61回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会富山県予選会  
大会要項(案)

主催 富山県高等学校体育連盟・(一財)富山陸上競技協会  
共催 富山県教育委員会・(公財)富山県体育協会  
主管 富山県高等学校体育連盟陸上競技専門部・(一財)富山陸上競技協会  
後援 読売新聞 北陸支社

1期 日 令和4年5月27日(金)～30日(月)

2会 場 富山県総合運動公園富山県陸上競技場 (富山市南中田368) 076-429-8835

3競技種目 男子 21種目  
100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 5000mW,  
4×100mR, 4×400mR, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳,  
砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, 八種競技  
女子 20種目  
100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 100mH, 400mH, 5000mW,  
4×100mR, 4×400mR, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳,  
砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, 七種競技

4競技日程 第1日目(5/27)  
男女400m予、男女1500m、男女4×100mR予  
男子走幅跳、女子棒高跳、男子ハンマー投、女子砲丸投  
第2日目(5/28)  
男女100m予、男女400m準決・決、男子5000m予、男子110mH、女子100mH、男女400mH予、  
男子5000mW、男女4×100mR決、男子走高跳、女子走幅跳、女子走高跳、  
男子やり投、女子ハンマー投、八種競技(100m・走幅跳・砲丸投・400m)  
第3日目(5/29)  
男女100m準決・決、男女800m予・準決、男子5000m決、男子400mH準決、男女400mH決、  
男子3000mSC予、女子5000mW、男女4×400mR予、男子棒高跳、男子三段跳、男子砲丸投、女子やり投  
八種競技(110mH・やり投・走高跳・1500m)、七種競技(100mH・走高跳・砲丸投・200m)  
第4日目(5/30)  
男女200m、男女800m決、女子3000m、男子3000mSC決、男女4×400mR決、  
女子三段跳、男女円盤投、七種競技(走幅跳・やり投・800m)

5競技規則 2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項による

6競技方法 (1) 学校対校とし、男子及び女子別の種目得点合計によって順位を決定する。  
(2) 各種目得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。

7参加資格 (1) 選手は、学校教育法1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2) 選手は、富山県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録していること。  
(3) 富山陸上競技協会を経て公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された競技者であること。  
(4) 年齢は、平成15(2003)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。  
(5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。但し、統廃合の対象になる学校については、統廃合完了前の2年間に限り、合同チームによる大会参加を認める。  
(6) 転校・転籍後、6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の認可があればこの限りでない。

- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。または、保護者が事前に健康診断等を受診させるなどして、健康状態に異常がないことを確認し、参加を承認した生徒で、在学する学校の校長が本条各項に定めた大会参加資格を有することを確認し、参加を承認した生徒であること。
- (8) 参加資格の特例
- ア) 上記(1)・(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高体連会長が推薦した生徒について、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規程」に従い大会参加を認める。
- イ) 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。
- (9) その他、富山県高等学校体育連盟大会開催基準要項に準ずる。
- (10) 次条「感染拡大防止のため遵守すべき事項」を遵守できる者であること。

- 8 感染症対策
- (1) 参加者(大会役員等を含む)は大会3日前から「体調管理チェックシート」(様式1)を記入して、大会当日に受付(富山県高体連専門部)に提出すること。チェックシートは、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取扱いに十分注意して各専門部で大会終了後1ヵ月間保存すること。
- (2) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ア. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ウ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) マスクを持参することとし、参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (5) 障がい者の誘導や介助を行うなどやむを得ない場合を除き、他の参加者、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
- (6) 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (7) 感染防止のために富山県高体連が決めたその他の措置の遵守、富山県高体連の指示に従うこと。
- (8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、富山県高体連に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (9) 大会の前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること。
- (10) 本条各項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
- (11) その他、富山県高等学校体育連盟新型コロナウイルス感染症に係る基本方針に準ずる。
- 9 参加制限
- (1) 1種目1校3名以内とする。但し、リレーは1校1チーム6名以内とし、同一人は3種目以内(リレーは除く)とする。
- (2) 外国人留学生については、1校男女共に4名以内とし、1種目1校1名の出場とする。(この種目にはリレーも含む)ただし、リレーに出場する場合は個人種目と合わせて、男女共1校最大4種目とする。
- 10 表彰
- 男女別の総合優勝は合計点によって決定する。ただし、同得点の場合は上位入賞者数の多い学校とする。各種目8位、総合の部は3位まで表彰する。
- (1) 男子・女子優勝校 読売新聞社寄贈の優勝旗(持ち回り)
- (2) 男子・女子準優勝校 盾(持ち回り)
- (3) 各種目別優勝者 賞状・メダル・賜杯盾(持ち回り)
- 11 北信越
- この大会は第61回北信越地区大会(6月16日～19日(案)・石川西部緑地公園陸上競技場)の予選を兼ねる。出場は、各種目とも本大会6位までの入賞者とする。ただし、男女走高跳・男子棒高跳については、6位までの入賞者6名とする。男女5000m競歩、男子八種競技、女子三段跳、女子ハンマー投、女子七種競技については4位までの入賞者とする。女子棒高跳については4位までの入賞者4名とする。
- 12 参加申込
- (1) 出場校の申込責任者は、アスリートランキングドットコムのホームページにアクセスし、参加申込書を作成すること。入力締切:令和4年5月6日(金)17:00
- (2) 顧問会議時に参加申込書を提出すること。押印に関してはコピー不可。
- (3) 参加料は1種目(リレーも含む)につき600円(参加料は振り込み)

- 1.3 開閉開式 (1) 開会式 5月27日(金) 第1日目 9時15分～(予定)  
選手は(最初の2種目出場選手を除いて)フィールド内に、左側より新川地区、富山地区、前年度男・女優勝校、高岡地区、砺波地区の順に、各校人数に応じて1～4列の縦隊に整列する。  
雨天の場合は、ロビーで各校代表者1名の参加にて実施する。  
前年度優勝校・次勝校・種目別優勝校はそれぞれ優勝旗・盾・賜杯等を持参して開会式に参加すること。
- (2) 閉会式 5月30日(月) 第4日目 15時00分～(予定)  
選手、役員は開会式と同じ場所、同じ隊形で整列する。  
雨天の場合は、ロビーで各校代表者1名の参加にて実施する。  
各部門の入賞校代表者は表彰係の指示により式台前に整列すること。

- 1.4 諸会議 顧問打合せ 5月27日～30日 8:30～ 会議室1AB (各校1名以上の参加)  
競技役員打合せ 5月27日～30日 8:45～ 会議室1AB

- 1.5 連絡事項 (1) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。  
(2) 引率責任者は、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。  
(3) ナンバーカードは富山陸上競技協会より登録競技者に割り当てられたナンバーを使用すること。  
(4) 受付は、富山県総合運動公園陸上競技場コンコース入口にて下記の時刻で行う。  
5月27日(金) 7:30～17:00  
(5) 本競技場の開場時間は5月27日(金)の7:30とする。  
(6) 競技用具の使用は競技場に備え付けられたものに限る。但し、棒高跳のポールは除く。  
(7) 練習場所と時間については割当て時間を厳守すること。特に投てき練習については安全に注意すること。  
(8) 生徒の送迎については別紙案内(アスリートランキングでDL)を参照し、各校で保護者連絡すること。  
(9) 前年度大会で優勝旗・杯等を授与された学校は、開会式で返還すること。  
(10) 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、公益財団法人日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。  
(11) 県総体出場者の追加登録は4月28日までに済ませること  
(12) 第1回顧問会議

日時 5月11日(水) 午後13時30分～

場所 富山県総合運動公園富山県陸上競技場 会議室 ※ 顧問会議終了後総体プログラム編成会議  
次の経費を5月10日までに振り込むこと

(1) 高校陸上年鑑代	各校1部	2,000円	
(2) 登録について			
・県陸協登録料	1人	1000円	} 計1,900円/1人
・ナンバーカード代	1人	300円	
・日本陸連登録料	1人	500円	
・全国高体連登録料	1人	100円	
(3) 総体参加について			
・プログラム代	1人1部	500円	} 計600円/1人
・アスリートランキング使用料	1人	100円	
・参加料	1種目	600円	

(4) 振込先 北陸銀行 南富山支店 普通預金口座 5005170  
名義 高体連陸上競技部 会計 谷内真之(タニチ サネキ)

1.6 問合せ先 ○大会について

〒933-8520 高岡市中川園町1-1 高岡高等学校内 越後俊朗 宛  
TEL 0766-22-0166 FAX 0766-26-3054

○登録について

〒933-8510 富山県高岡市横田286 高岡商業高等学校内 川淵哲也 宛  
TEL 0766-21-4319 FAX 0766-22-4479

※問い合わせは、午前9時～午後3時迄とする(日・祭日は除く)

# 選手注意事項

## 1 開会式参加について

- (1) 開会式は第1日目の5月27日（金）午前9時15分より行う。
- (2) 出場校の選手は競技場内に新川地区、富山地区、前年度優勝校、高岡地区、砺波地区の順に整列すること。
- (3) 9時10分までに集合完了のこと。
- (4) 雨天の場合は屋内で行うが、その際は各校代表1名を参加させること。
- (5) 前回大会優勝校、次勝校及び種目優勝校は、それぞれ旗・楯・杯を持参し参加すること。

## 2 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は第2ゲートに設ける。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がアスリートビブスの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。

招集完了時刻はトラック競技は競技開始20分前とし、組により時差を設ける。跳躍競技は走高跳、三段跳、女子走幅跳が40分前、男子走幅跳が50分前、棒高跳は2時間前とする。投てき競技は砲丸投、ハンマー投及び女子円盤投が30分前、男子円盤投、女子やり投が40分前、男子やり投が50分前とする。

混成競技はすべて招集場所で行う。トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は30分前をめどに点呼を行う。

- (3) 競技に出場しない選手・チームはプログラムにつけられている「欠場届」を招集所に提出すること。
- (4) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (5) アスリートビブスはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。ただし、男子混成1500m、女子混成800m、男子5000m予選・決勝、女子3000m、男子3000mSC予選・決勝、男女5000m競歩は主催者が準備した別ビブスをつけること。その際、正規ビブスを持参すること。
- (6) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- (7) リレー競技に出場する学校は、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。（ただし、状況により変更することがある）

1位及び北信越大会出場の決定戦は、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって行う。

走高跳	男子	1m60 1m80 練習	1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 1m86 以後3cm刻み
	女子	1m25 1m45 練習	1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 1m51 以後3cm刻み
棒高跳	男子	2m70 3m60 4m00 練習	2m80 3m00 3m10 3m20 3m30 以後10cm刻み
	女子	1m90 2m50 3m00 練習	2m00 2m10 2m20 2m30 2m40 以後10cm刻み

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※男子棒高跳の練習は5月28日（土）12:00～14:00の間、メイン競技場で行うことができる

- (9) 計測ラインは次のように予定する。（ただし、状況により変更することがある）

男子	砲丸投	9m00	円盤投	27m00	やり投	42m00	ハンマー	なし
	走幅跳	5m80	三段跳	11m00				
女子	砲丸投	7m00	円盤投	20m00	やり投	25m00	ハンマー	なし
	走幅跳	4m50	三段跳	9m00				

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする

- (10) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (11) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (12) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持または使用することはできない。

### 3 表彰について

- (1) 種目別表彰はその都度行う。男女総合の部はそれぞれ6位まで、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。
- (2) 8位までの入賞者は、当該競技終了後直ちに表彰者控え席に集合すること（控え席は正面エントランスロビー出入口とする。）

### 4 その他

- (1) 競技場の開場時間は初日7：30～、2日目以降7：00～とする。
- (2) 学校受付は陸上競技場コンコース入口にて行う。体調チェックシートはフォームで入力、または紙で提出すること。
- (3) 第61回北信越高校陸上競技対校選手権大会の出場資格を得た者は、表彰終了後、必ず庶務係の先生の指示の下、個票の確認を行うこと。（各種目6位までの入賞者。ただし、男女走高跳、男子棒高跳は6位までの入賞者6名とする。また、男女5000m競歩、女子三段跳、女子ハンマー投、男子八種競技、女子七種競技については4位までの入賞者とする。女子棒高跳については4位までの入賞者4名とする。）
- (4) 大会中のけがは医務室にて応急処置のみ行うが、その後については各自で対処すること。
- (5) 各校補助員は8時30分に集合場所（会議室5A）に集まり、補助員係主任の指示を受けること。
- (6) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (7) 写真・ビデオなどの撮影については所定のビブスを着用すること。
- (8) 競技に支障のあるような応援はしないこと。メインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。感染防止のため集団応援は禁止とする。
- (9) メインスタンド席の場所取りは禁止する。また間隔を十分に開けて着席すること。
- (10) 新型コロナウイルスに対する大会参加に際する留意点について

- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては、突然の大会の中止の可能性がある。

#### 【大会当日】

- ・当日の体温が37.5℃を超える場合の観戦は控えること。
- ・大会前日と当日の2日間連続で体温が37.5℃を超える選手は参加できない。
- ・大会当日朝に初めて体温が37.5℃を超えた場合、大会への参加を見送ること。
- ・密閉空間、密集、近距離での会話や発声、以上3つを回避するよう各個人・各校で徹底すること。
- ・各自の責任で、手洗い、うがい、マスク着用を励行すること。
- ・器具を触った手で口や目に触らず、競技終了後入念な手洗いをすること。

#### 【大会後】

- ・大会終了後2週間以内に感染が確認された場合、直ちに主催者に報告すること。